

6月16日の大倉山講演会

日本のロータリークラブ 誕生と米山梅吉の思想

米山梅吉^{よねやまうめきち}は、三井銀行常務取締役時代の1914年8月、雑誌『実業之日本』で「新隠居論」を発表し、その中で社会各方面の長老に向かって隠居を勧めると共に、「社会公衆の為にする所が無くては人間としての義務を十分に盡したことはない。」と説きました。

その3年後の1917年10月、米山は日本帝国政府特派財政経済委員会の遣米財政問題調査団の一員として渡米した際、ロータリークラブのゲストとして出席したことがきっかけでロータリークラブを知ることとなります。「新隠居論」に見られる米山の当時の日本実業界の商道德への批判がロータリークラブの「奉仕の精神」に触発され、米山を日本のロータリークラブ創設へと動かすことになったのです。

本講演では、三井財閥の重鎮であった米山の思想形成の過程を辿り、米山が「奉仕の精神」へ傾倒していった要因を探ります。

◇日時：平成30年6月16日(土) 午後2時～3時30分 (開場は午後1時40分)

◇会場：横浜市大倉山記念館 ホール

横浜市港北区大倉山二丁目10-1 大倉山公園内 (東急東横線大倉山駅下車徒歩7分)

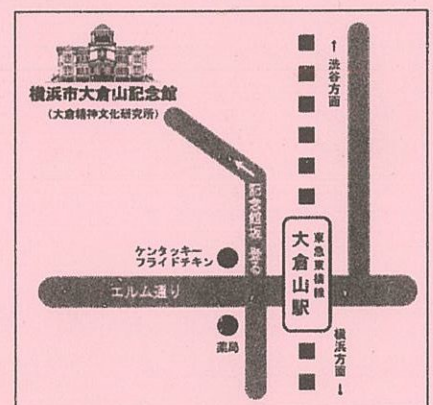
◇講師：堀^{ほり}峰生^{みねお} (新潟経営大学教授)

◇定員：80名 (入場無料、予約なし当日先着順)

◇問合せ：(公財)大倉精神文化研究所 電話 045-834-6637

Eメール okuraseishinbunka@js6.so-net.ne.jp

ホームページ <http://www.okuraken.or.jp/>



主催：公益財団法人大倉精神文化研究所 共催：横浜市大倉山記念館指定管理者

次回予告 7月7日(土) 愛知大学共催公開講演会

(予定) 夏目漱石「吾輩は猫である」の魅力 谷彰 (愛知大学短期大学部教授)